

1月20日：プラス圏でもみ合い、VN指数は1,130ポイントを超えた

水曜日、弱気ムードを払しょくするためベトナム株はもみ合い、VN指数は1130ポイントを上回ったが、利益確定売りが市場全体の重しとなった。

ホーチミン市場の主要指標のVN指数は0.33%高の1,134.68ポイントで引けた。

売買高は約8億3,930万株以上、売買代金は17兆8,000億ドン（7億7,200万USドル）だった。

下落銘柄数が上昇銘柄数を上回り、値下がり銘柄が235、値上がり銘柄は209銘柄だった。

「VN指数は朝方かなり強く変動し、1,100～1,110ポイントを割り込む場面もあった。しかし、低い価格帯で押し目を拾う力が働き、同指数は後場に再び上昇に向かった」（vietstock.vnのニュースサイト）

大型株に連動するVN30指数は0.75%安の1,173.34ポイントだった。

VN30指数構成銘柄のうち、21銘柄が上昇し、6銘柄が下落した。

ノバランド不動産投資グループ（NVL）は4%近く値上がりし、VN30指数で上昇率トップ。カンディエン不動産（KDH）、FLCファロス建設（ROS）、モバイル・ワールド・インベストメント、FPT（FPT）は2%上昇し、それに続いた。

フーニュアン・ジュエリー（PNJ）、ペトロベトナム・ガス（GAS）、テクコムバンク（TCB）、ベトジェット航空（VJC）、ペトロベトナムパワー（POW）といった優良株は1%を超える上昇。

その半面、ホアンファイ投資金融サービス（TCH）とタインタインコンービエンホア（SBT）は最も売られ、2%以上下落した。SSI証券（SSI）、ビンコムリテール（VRE）、サコムバンク（STB）は全て1%以上下落し、ベトインバンク（CTG）も下げた。

「朝方、VN指数は大きく乱高下したが、午後に入ってから株価は次第に安定し、より狭いレンジで推移した」（BIDV証券）

「外国人投資家は（ホーチミン、ハノイ市場の）両市場で引き続き買い越した。だが、値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回る落ち着いた状態であり、前日比で売買高も減少していた。我々の見方では、デリバティブ取引の決済週のアービトラージ取引と心理的な要因から VN 指数は大きく乱高下する取引を続けるかもしれない」（BIDV 証券）

セクター別では全 25 業種中、食料飲料、卸売、不動産、建材、建設、小売、エネルギー、IT、銀行、運輸といった 15 業種が上昇。

その半面、証券、ヘルスケア、農業、水産加工、ゴム製品は売られた。

ハノイ市場では、HNX 指数が 4.12% 高の 233.26 ポイントだった。

売買高は 1 億 7,300 万株以上で、売買代金は 2 兆 2,000 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。